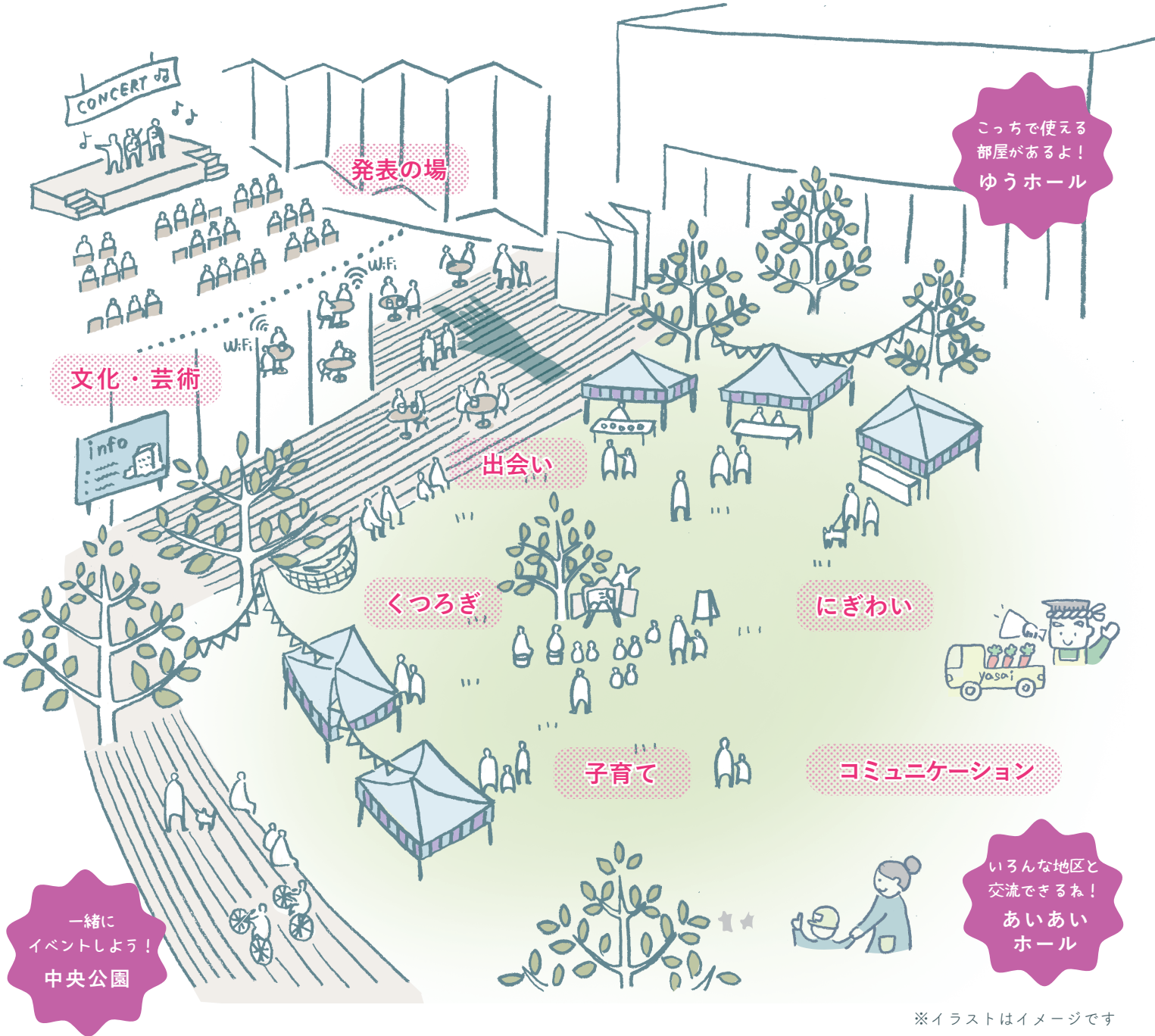




久御山町 全世代・全員活躍 まちづくりセンター整備基本計画



— まちづくりセンターから人とまちを、未来へつなぐ —



※イラストはイメージです

まちづくりセンターってなに？

公民館の建替えを機にまちづくりの視点ももって整備される新しい拠点です。「すべての世代の人が集まり、過ごし、学びの裾野を広げ、交流し、久御山を愛し、久御山で活躍できる拠点」として、公民館機能に加えて現代的な課題にも応えられる新しい施設を目指しています。

どこに出来るの？



1 これまでの中央公民館とまちづくりセンター

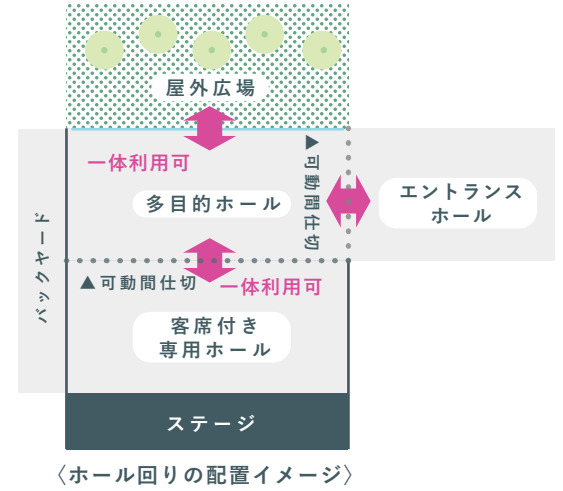
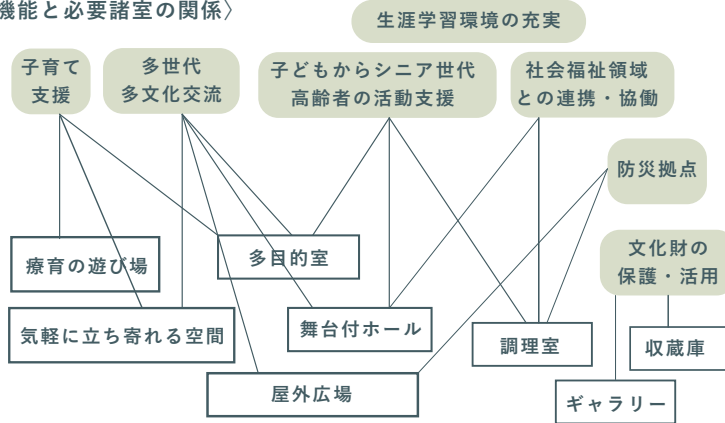
45年に渡って親しまれてきた中央公民館は、耐震性や老朽化等の問題から令和2年に閉館。平成29年度から今後のあり方についての検討が行われ、適切な規模での建て替えの方針と「まちづくりセンター」として整備していくことが決定されました。住民ヒアリングやアンケートなどから低い稼働率への対策や現代の多様化する社会ニーズに対応すること、財政的に若い世代の負担にならない計画などが求められていることが分かりました。

課題	① 社会の変化
	② 耐震性・老朽化等の建物の不具合
	③ 稼働率の低下
	④ 文化・生涯学習の展望検討
意見	① 若い世代に負担のない施設
	② 開放的で気軽に立ち寄れる
	③ 自由に使える、ゆっくり過ごせる
	④ 多様化する社会ニーズへの対応

2 まちづくりセンターの役割や目指す姿

従来の公民館機能に加え、CCAC構想が掲げる7つの機能が実現できる空間の整備が検討されました。ホールのあり方については具体的な利用を含めた議論が行われ、「専用ホール」「多目的ホール」「屋外広場」の連続する3つの空間が設定されています。

〈機能と必要諸室の関係〉



〈ホール回りの配置イメージ〉

● 役割や機能 □ 整備する空間イメージ例

空間の役割や使い方は多種多様。
これからは、ひとりひとりの「空間の使いこなし」が重要！

3 誰がつくる？ みんなでつくる

まちづくりセンターは地域のコミュニティやまちづくりの要素も付加した施設として整備されます。このような多様な活動や施設の使い方を、住民、町役場、コーディネーター、民間事業者がお互いに協力しながら進めていくことが大切です。

みんなが関われる
仕組みづくり

行政と民間が
協働する仕組みづくり

みんなのトライを
やりやすくするための
今までのルールの変更



4 実現・活用にもつての流れ

住民を始め、様々な立場の人たちのノウハウや思いが出来るだけ反映されることを第一として、事業者選定の流れを3段階で組むことにしました。

- 第1段階：センター運営者と施設の設計者の選定
- 第2段階：設計対話※を行った上で詳細設計を行う
- 第3段階：建設及び維持管理の担当事業者を選定

※設計対話とは、町や住民の意見を設計に取り入れるためのヒアリングやワークショップのこと

R3 年度		R4 年度		R5	R6
事業者の公募開始1	応募締切	基本設計	詳細設計	建設開始	開館・利用開始
契約締結	優先交渉権の決定	設計対話	事業者の公募開始2		